



ベトナム・カイバー集落調査に対するティエンザン省知事表彰

文化庁文化財部とベトナム文化情報省(現文化スポーツ観光省)との間に結ばれた技術協定をもとに、文化庁からの要請を受けて、奈良文化財研究所や昭和女子大学等が、ベトナムの集落調査や保存計画策定の協力をおこなってきました。調査地はベトナム北部のハタイ省ドゥオンラム村(2003~2006)や中部のトゥアンティエン・フエ省フォックティック村(2009~2010)、南部のドンナイ省フーホイ村(2010~2011)、同じく南部のティエンザン省カイバー県ドンホアヒップ村(2011~2013)の4村で、各調査では伝統的民家と寺院、歴史的な集落景観の特徴に関する調査研究、正確な地図や建物の台帳等の基礎的データの作成をおこない、観光開発やまちづくりにつながる提案をまとめ、それぞれ日本語版と英語版の報告書を刊行しました。この4村はその後、ベトナムの国家文化財に指定され、観光地としても賑わいをみせています。

ドンホアヒップ村のあるカイバー県はホーチミン市の南西、メコンデルタに位置し、メコン川やその支流を利用した水上マーケットで有名な街です。ドンホアヒップ村では、文化遺産部建造物研究室、景観研究室、都城発掘調査部遺構研究室、企画調整

部写真室の職員が参加し、伝統的な民家建築や寺院建築の調査、集落構造や景観に関する調査に加え、大工道具の調査もあわせておこないました。ドンホアヒップ村は、運河が張り巡らされたなかに大規模な民家が点在し、19世紀後半から20世紀初頭のベトナムの伝統的民家に加えて、西洋スタイルの装飾や平面をもつ20世紀前半頃の民家も存在し、ふたつの民家形式が混在した特徴的な集落景観を構成しています。

このドンホアヒップ村の集落調査および保存計画策定のための協力、その後の日越文化交流への貢献が評価され、昨年11月にティエンザン省知事より表彰をいただきました。表彰式は第4回ドンホアヒップ文化観光祭2019にておこなわれました。奈文研とともに文化庁やJICAベトナム事務所等も表彰を受け、その様子はベトナムのテレビ番組で生放送されました。

ベトナムの伝統的な集落や町並の保存計画の策定、国家文化財への指定、そしてこれらを踏まえた観光事業や街づくりはこれからも続いていきます。今後もベトナムでの調査協力や文化交流を継続し、学術的な調査研究に加え、地元地域の発展につながる協力をおこなっていきたいと思います。

(都城発掘調査部 福嶋 啓人)



ドンホアヒップ文化観光祭での表彰式



表彰状